

# 2026年3月期第3四半期 決算補足資料

萩原電気ホールディングス株式会社  
(東証プライム・名証プレミア 7467)  
2026年3月3日



## 2026年3月期 第3四半期 決算概要

第3四半期は前年同期比で増収減益となったものの、計画に沿った進捗。

- ・売上高は前年同期比0.2%増の1,953億円。第1四半期は米国の関税政策変動に伴う顧客動向の影響で半導体・電子部品の需要が一時的に減速したが、その後は安定推移。業務効率化や設備投資需要を捉えたソリューション事業の伸長等もあり、累計では前年並みの水準を維持。
- ・営業利益は前年同期比25.1%減の41億円。急激な為替変動などによりデバイス事業の売上総利益が減少したほか、人的資本投資や経営統合関連費用など、中長期的な成長を見据えた戦略投資を積極的に実施したことが影響。ただし、これらの投資は将来の収益拡大に資するものと見込む。

## 2026年3月期 業績予想

通期業績予想は8月8日公表値を据え置き。  
年間配当予想は期初計画通り一株当たり185円(期末配当95円)を予定。

# 2026年3月期第3四半期決算概要

2026年3月期業績予想

Appendix

# 2026年3月期第3四半期業績

- ・計画に対して、売上・利益ともに若干の弱含みながら概ね想定通りの進捗。
- ・前年同期比では、為替影響等による売上総利益の減少や成長投資の増加により減益となった。

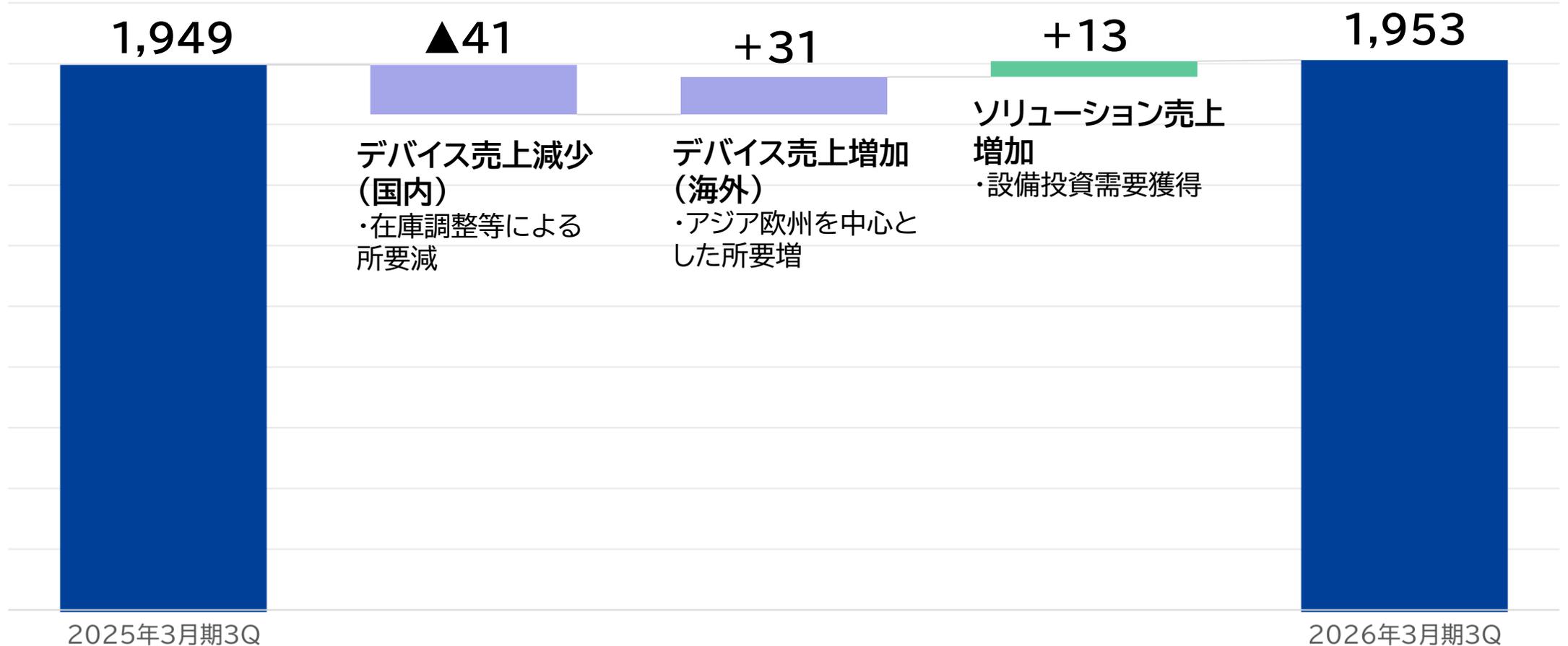
(単位:百万円)

	2025年3月期3Q		2026年3月期3Q		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	194,920	100%	<b>195,317</b>	100%	+397	+0.2%
売上総利益	15,719	8.1%	<b>15,469</b>	7.9%	▲250	▲1.6%
販管費	10,213	5.2%	<b>11,346</b>	5.8%	+1,132	+11.1%
営業利益	5,505	2.8%	<b>4,123</b>	2.1%	▲1,382	▲25.1%
経常利益	4,904	2.5%	<b>3,566</b>	1.8%	▲1,338	▲27.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,099	1.6%	<b>1,813</b>	0.9%	▲1,286	▲41.5%
1株当たり四半期純利益 (円)	311.10	—	<b>181.95</b>	—	▲129.15	—
為替レート(ドル)	151.29円		148.74円		2.55円円高	

## 売上高の増減要因

- ・売上高は前年同期比3.9億円増(+0.2%)と前年並みで推移。
- ・第1四半期を中心に米国関税政策変更による不透明感や顧客の在庫調整等の影響を受けたが、その後は回復。デバイス海外事業およびソリューション事業が売上を下支えした。

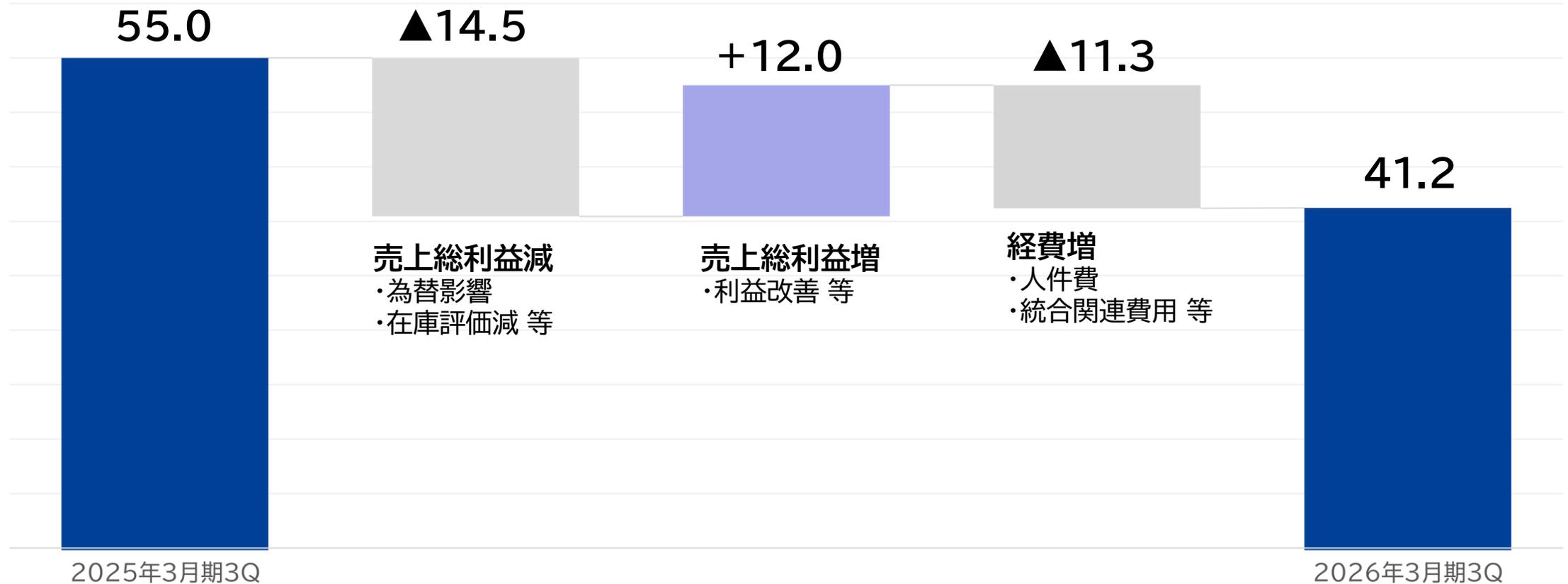
売上高  
(億円)



## 営業利益の増減要因

- ・営業利益は前年同期比13.8億円減(▲25.1%)となったが、計画値に近い水準で推移。
- ・為替影響等によるデバイス事業の売上総利益低下や人的投資などの成長投資が増加する一方、ソリューション事業では高付加価値案件の獲得が進み、利益改善に寄与した。

営業利益  
(億円)



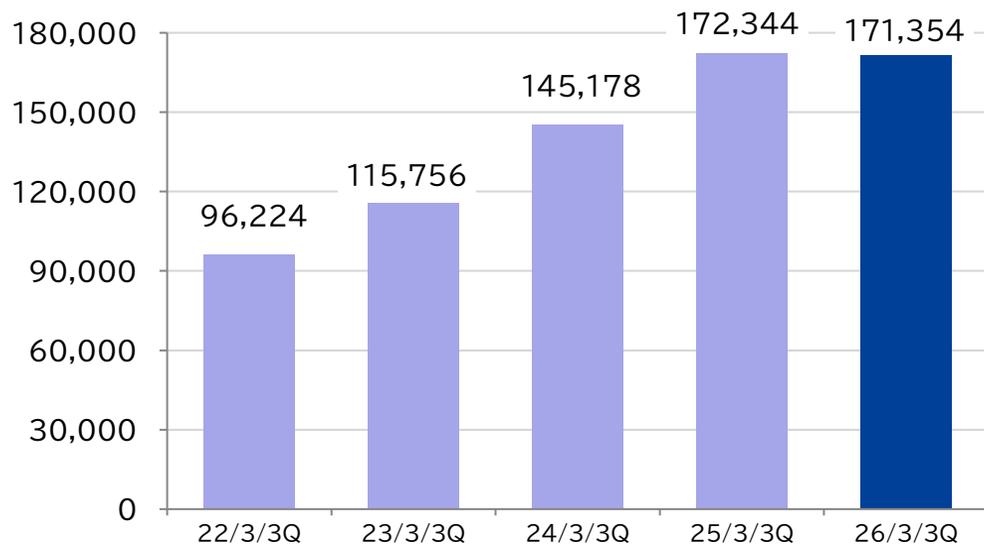
# デバイス事業 業績概要

・第1四半期は米国の関税政策変更や在庫調整等により売上が伸び悩んだが、その後は回復基調に転じ、累計では前年同期に近い水準まで回復。  
 ・一方、為替影響や在庫評価損の計上等により売上総利益が減少し、減益となった。

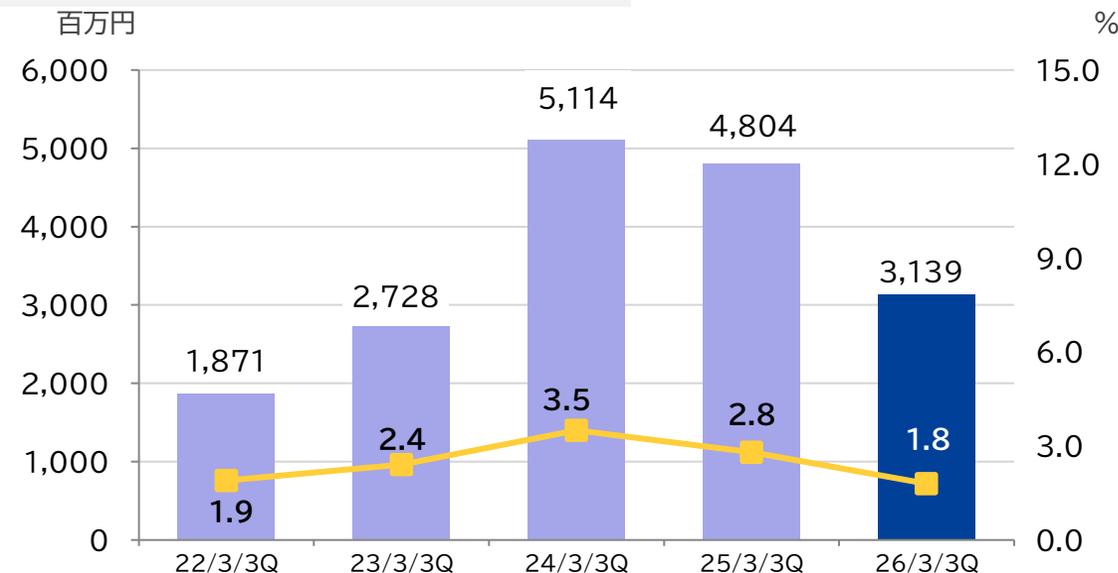
(単位:百万円)

	2025年3月期3Q		2026年3月期3Q		
	金額	構成比	金額	構成比	前年同期比
売上高	172,344	100%	171,354	100%	▲989 ▲0.6%
セグメント利益	4,804	2.8%	3,139	1.8%	▲1,665 ▲34.7%

売上高  
百万円



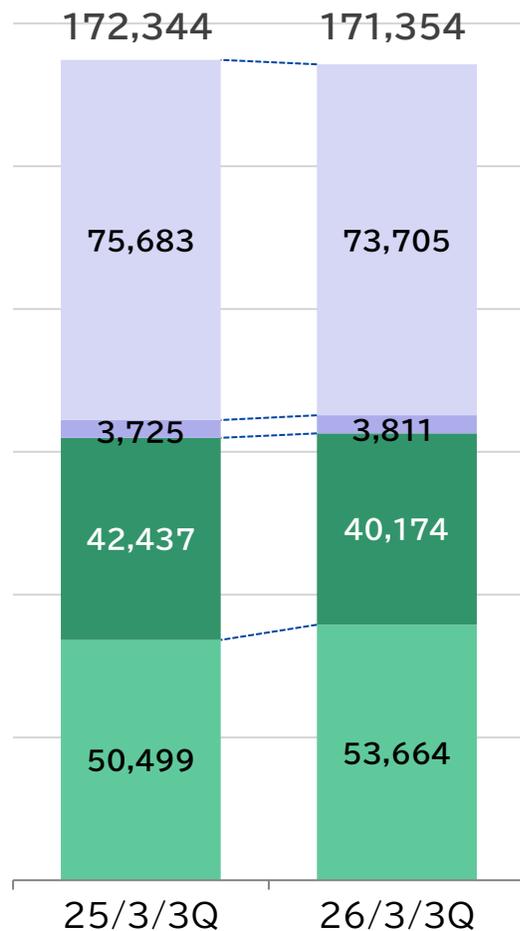
セグメント利益・セグメント利益率  
百万円



# デバイス事業 得意先別売上高前期比較

・国内市場は第3四半期会計期間では前年同期比で増収で推移したものの、第1四半期の製品変更や商流切替等に伴う在庫調整影響が残った。

(単位:百万円)



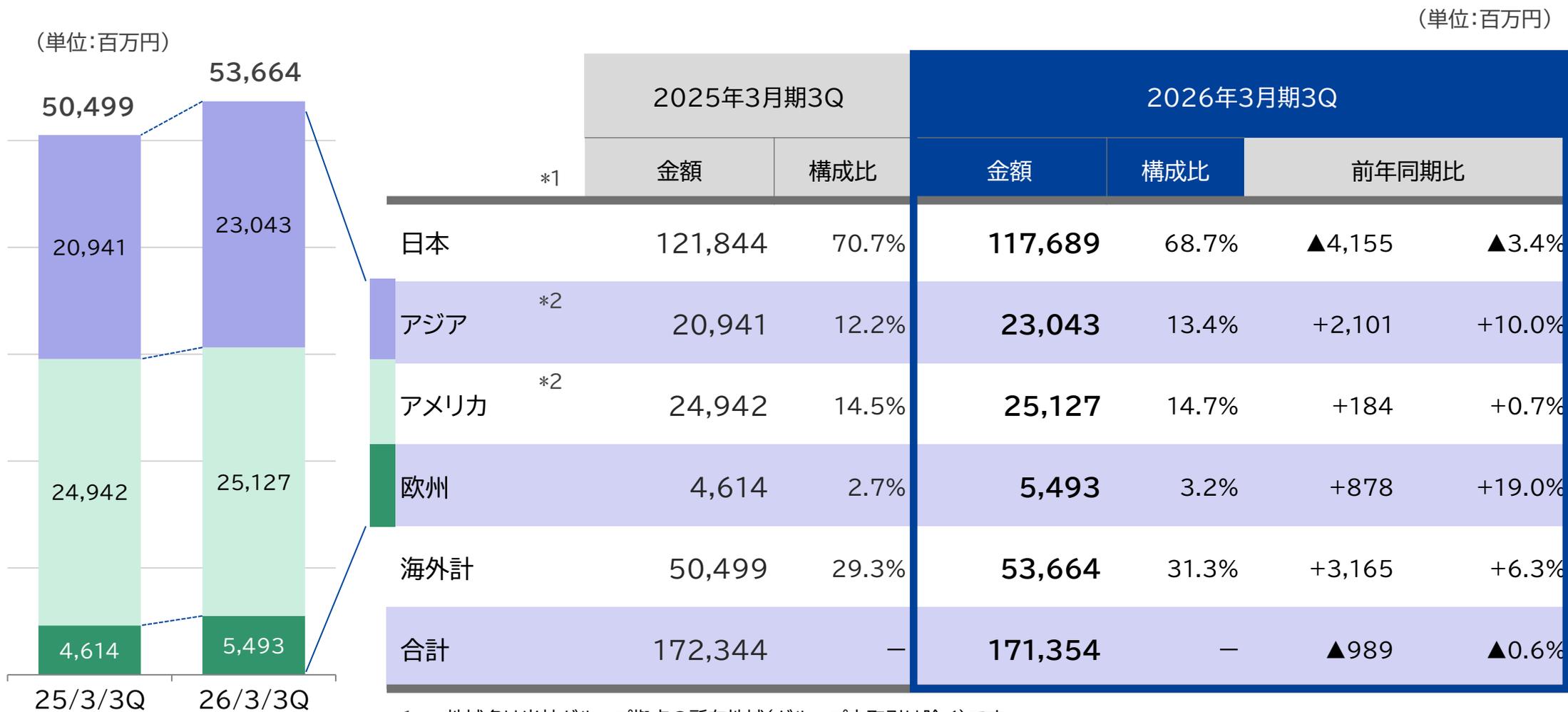
(単位:百万円)

	2025年3月期3Q		2026年3月期3Q		
	金額	構成比	金額	構成比	前年同期比
デンソー	75,683	43.9%	<b>73,705</b>	43.0%	▲1,977 ▲2.6%
東海理化	3,725	2.2%	<b>3,811</b>	2.2%	+86 +2.3%
その他	42,437	24.6%	<b>40,174</b>	23.5%	▲2,263 ▲5.3%
海外拠点 得意先 *1	50,499	29.3%	<b>53,664</b>	31.3%	+3,165 +6.3%
合計	172,344	—	<b>171,354</b>	—	▲989 ▲0.6%

\*1 海外拠点得意先には、デンソーを含む主要顧客の海外事業所向けの売上が含まれております。

# デバイス事業 エリア別売上高前期比較

・アジアおよび欧州を中心に海外需要が堅調に拡大し、グローバル展開が進展。国内需要の減速を補なった。



\*1 地域名は当社グループ拠点の所在地域(グループ内取引は除く)です。

\*2 当社グループのシンガポール、中国、アメリカ拠点における決算期は、2026年3月期より、従来の12月末から3月末へと変更いたしました。なお、2025年3月期における当該拠点の業績数値は2024年1月～2024年9月の期間のものとなっております。

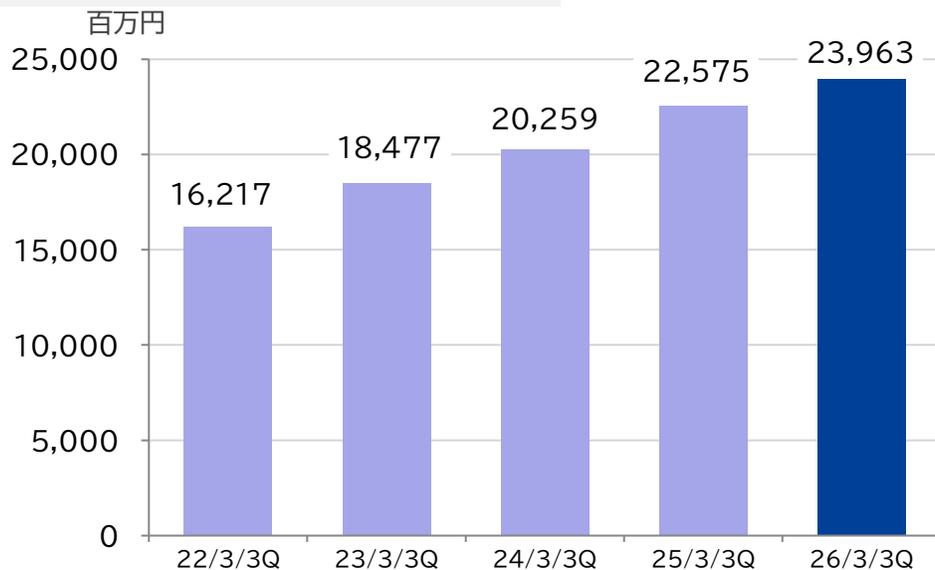
# ソリューション事業 業績概要

- ・業務効率化ニーズや研究開発・設備投資需要を的確に取り込み、売上が増加。
- ・体制強化や先行投資に伴う費用増はあったものの、増収効果と収益性改善により増益を確保した。

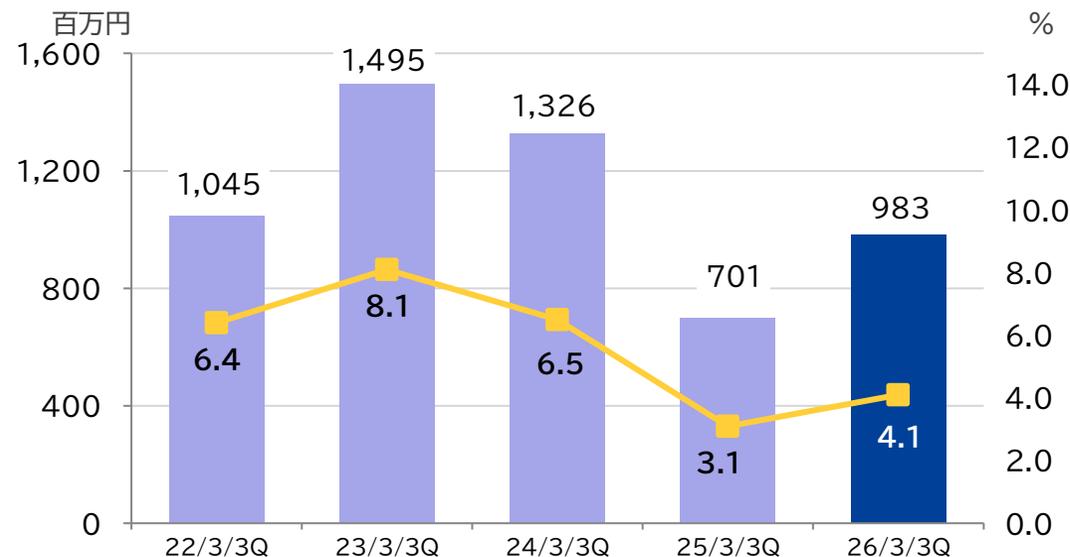
(単位:百万円)

	2025年3月期3Q		2026年3月期3Q		
	金額	構成比	金額	構成比	前年同期比
売上高	22,575	100%	<b>23,963</b>	100%	+1,387 +6.1%
セグメント利益	701	3.1%	<b>983</b>	4.1%	+282 +40.3%

売上高



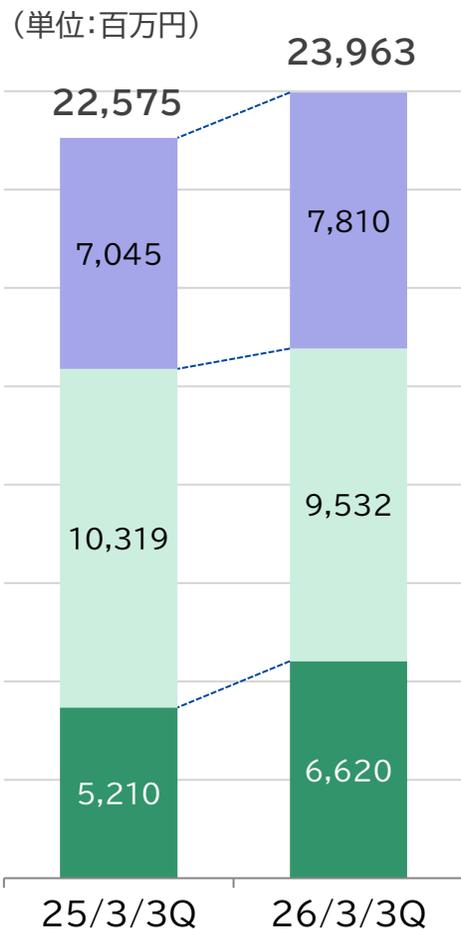
セグメント利益・セグメント利益率



# ソリューション事業 事業領域別売上高前期比較

・組込ソリューション領域は顧客の在庫調整の影響で伸び悩んだが、FAソリューション領域では高付加価値案件の獲得が進み、全体として増収。業務効率化・設備投資需要を確実に取り込んだ。

(単位:百万円)

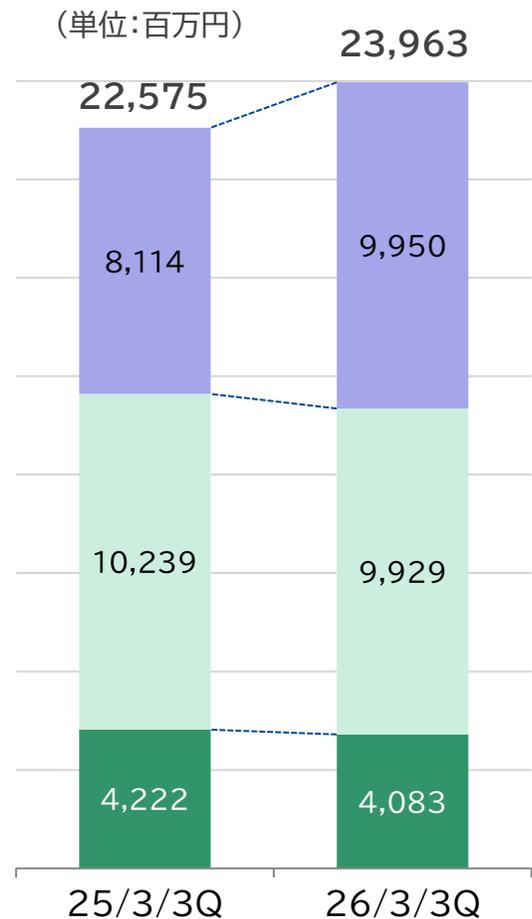


	2025年3月期3Q		2026年3月期3Q		
	金額	構成比	金額	構成比	前年同期比
ITソリューション・データプラットフォーム	7,045	31.2%	<b>7,810</b>	32.6%	+764 +10.8%
組込ソリューション	10,319	45.7%	<b>9,532</b>	39.8%	▲786 ▲7.6%
FAソリューション	5,210	23.1%	<b>6,620</b>	27.6%	+1,409 +27.0%
<b>合計</b>	<b>22,575</b>	—	<b>23,963</b>	—	+1,387 +6.1%

ITソリューション : IT機器販売、アプリ開発、IoTシステム開発、セキュリティ対策等  
 データプラットフォーム : IoTプラットフォーム及びサービス販売等  
 組込ソリューション : 産業用コンピュータ開発・製造、機械装置向け組込産業用コンピュータ販売等  
 FAソリューション : 計測機器・検査装置・FA機器販売、各種自動化・省力化製造装置の開発・製造・販売等

# ソリューション事業 顧客業種別売上高前期比較

・自動車関連産業における旺盛な設備投資需要を確実に捉え、売上拡大に寄与した。



(単位:百万円)

	2025年3月期3Q		2026年3月期3Q		
	金額	構成比	金額	構成比	前年同期比
自動車	8,114	35.9%	<b>9,950</b>	41.5%	+1,835 +22.6%
FA・産業機器	10,239	45.4%	<b>9,929</b>	41.4%	▲309 ▲3.0%
その他	4,222	18.7%	<b>4,083</b>	17.0%	▲138 ▲3.3%
<b>合計</b>	<b>22,575</b>	—	<b>23,963</b>	—	+1,387 +6.1%

## 連結貸借対照表の状況

- ・資産は、電子記録債権、受取手形、売掛金および契約資産が減少。
- ・負債は、長期借入金に加え、支払手形および買掛金が減少。
- ・自己資本比率は40.9%となり、財務基盤は安定した水準を維持。

(単位:百万円)

	2025年 3月末	2025年 12月末	増減
流動資産	118,323	112,764	▲5,559
商品及び製品	48,362	48,296	▲65
固定資産	11,837	12,101	+263
有形固定資産	4,649	4,521	▲127
無形固定資産	3,669	3,701	+31
投資その他資産	3,519	3,878	+358
資産合計	130,161	124,865	▲5,296

	2025年 3月末	2025年 12月末	増減
流動負債	47,795	46,454	▲1,341
固定負債	29,387	25,169	▲4,217
負債合計	77,183	71,624	▲5,559
株主資本	48,514	48,316	▲198
その他	4,463	4,924	+461
純資産合計	52,978	53,241	+262
負債純資産合計	130,161	124,865	▲5,296

2026年3月期第3四半期決算概要

**2026年3月期業績予想**

Appendix

# 2026年3月期業績予想

・通期業績予想は、2025年8月8日公表値を据え置き。

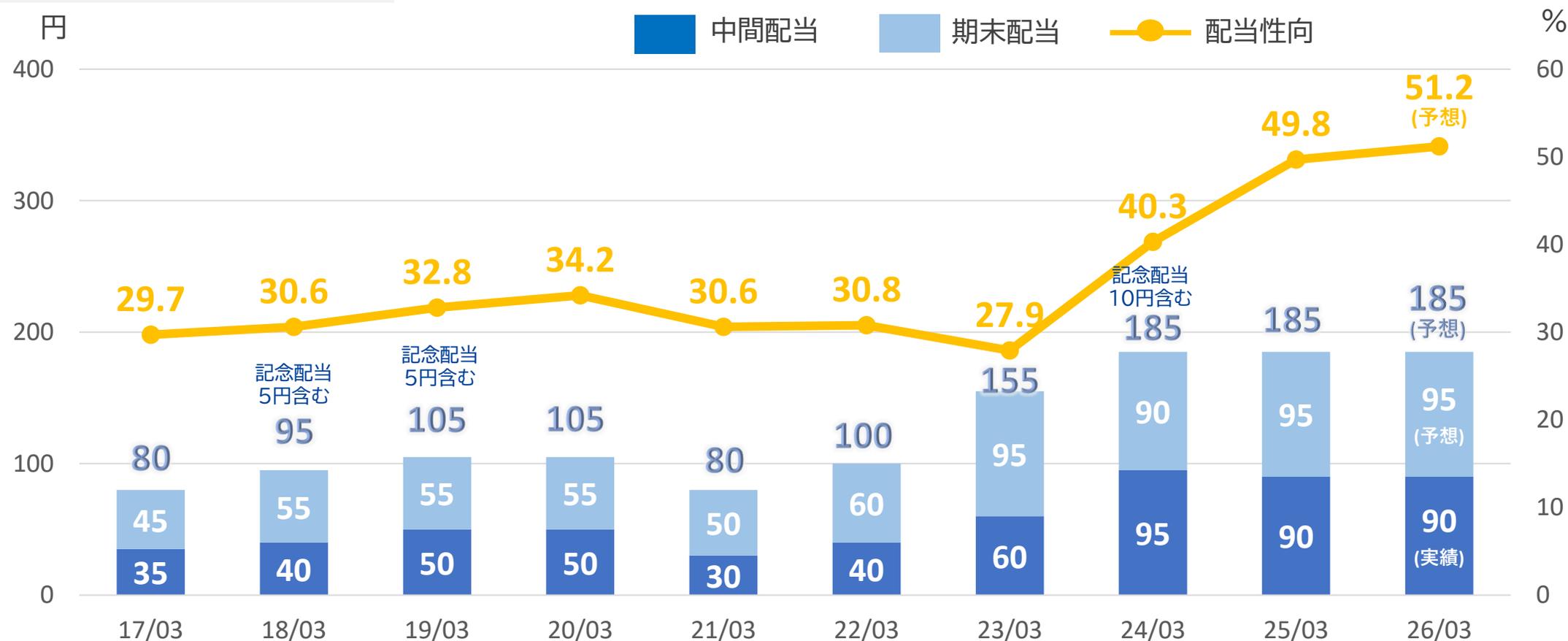
(単位:百万円)

	2025年3月期		2026年3月期(予想)		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	258,742	100%	<b>270,000</b>	100%	+11,257	+4.4%
営業利益	7,112	2.7%	<b>6,900</b>	2.6%	▲212	▲3.0%
経常利益	6,210	2.4%	<b>5,900</b>	2.2%	▲310	▲5.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,699	1.4%	<b>3,600</b>	1.3%	▲99	▲2.7%
1株当たり当期純利益(円)	371.30	—	<b>361.27</b>	—	▲10.03	—
為替レート(ドル)	151.58円		147.00円		4.58円円高	—

# 株主還元

- ・基本方針は、配当性向30～40%を目安とした安定的な株主還元の継続。
- ・年間配当予想は期初計画通り185円(期末95円)を予定。

配当金および配当性向の推移



2026年3月期第3四半期決算概要

2026年3月期業績予想

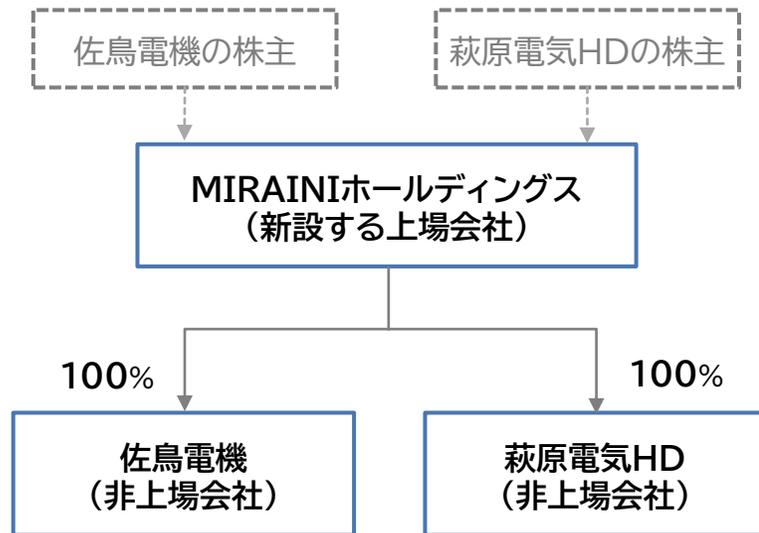
**Appendix**

# 佐鳥電機との経営統合の進捗

・2026年3月2日付で、「MIRAINIホールディングス」が東京証券取引所プライム市場および名古屋証券取引所プレミアム市場への新規上場承認を受けた。

統合方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>佐鳥電機株式会社(以下、佐鳥電機)及び萩原電気ホールディングス株式会社(以下、萩原電気HD)を株式移転完全子会社、新設する共同持株会社MIRAINI(ミライニ)ホールディングス株式会社(以下、MIRAINIホールディングス)を株式移転設立完全親会社とする共同株式移転による経営統合</li> </ul>
株式移転比率	<p style="text-align: center;">佐鳥電機:萩原電気HD=1.02 : 2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>佐鳥電機の普通株式1株に対して、MIRAINIホールディングスの普通株式1.02株を交付</li> <li>萩原電気HDの普通株式1株に対して、MIRAINIホールディングスの普通株式2株を交付</li> </ul>

## 経営統合後の資本関係(2026/4/1~)



## 経営統合に向けた今後のスケジュール

2026年3月2日	新設共同持株会社の上場承認
2026年3月27日(予定)	東京証券取引所及び名古屋証券取引所での最終売買日
2026年3月30日(予定)	東京証券取引所及び名古屋証券取引所上場廃止日
2026年4月1日(予定)	経営統合の効力発生日 (MIRAINIホールディングスの新規上場日)

証券コード・銘柄略称 : 546A・MIRAINI



## 萩原電気ホールディングス株式会社

### 【本資料お取り扱い上のご注意】

本資料作成にあたっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、情報の正確性および完全性を保証するものではありません。本資料中の業績予想ならびに将来予測は、作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により実際の業績は将来見通しとは大きく異なる場合がございます。

従いまして、本資料のみに依拠した投資判断をされますことをご控えいただきますようお願いいたします。また、本資料利用により生じたいかなる損害についても、当社は一切の責任を負いません。